



REST API を使用した Cisco APIC の設定

- [Cisco APIC クラスタの設定 \(1 ページ\)](#)
- [ファブリックの初期化とスイッチの検出 \(2 ページ\)](#)

Cisco APIC クラスタの設定

REST API を使用した APIC クラスタの拡大

クラスタは、実際のサイズを目標サイズに合わせます。目標サイズが実際のサイズよりも大きい場合、クラスタ サイズが拡大します。

ステップ1 APIC クラスタのサイズを拡大するために目標のクラスタ サイズを設定します。

例：

```
POST
https://<IP address>/api/node/mo/uni/controller.xml
<infraClusterPol name='default' size=3/>
```

ステップ2 クラスタに追加する APIC コントローラを物理的に接続します。

REST API を使用した APIC クラスタの縮小

クラスタは、実際のサイズを目標サイズに合わせます。目標サイズが実際のサイズより小さい場合、クラスタ サイズは縮小します。

ステップ1 APIC クラスタのサイズを縮小するため、目標のクラスタ サイズを設定します。

例：

```
POST
https://<IP address>/api/node/mo/uni/controller.xml
<infraClusterPol name='default' size=1/>
```

REST API を使用してアクティブ APIC とスタンバイ APIC を切り替える

ステップ 2 クラスタ縮小のための APIC1 上の APIC3 の解放

例 :

```
POST
https://<IP address>/api/node/mo/topology/pod-1/node-1/av.xml
<infraWiNode id=3 adminSt='out-of-service'>
```

ステップ 3 クラスタ縮小のための APIC1 上の APIC2 の解放

例 :

```
POST
https://<IP address>/api/node/mo/topology/pod-1/node-1/av.xml
<infraWiNode id=2 adminSt='out-of-service'>
```

REST API を使用してアクティブ APIC とスタンバイ APIC を切り替える

REST API を使用してアクティブな APIC とスタンバイ APIC を切り替えるには、この手順を使用します。

アクティブ APIC とスタンバイ APIC を切り替えます。

URL for POST: `https://ip address/api/node/mo/topology/pod-initiator_pod_id/node-initiator_id/av.xml`
 Body: `<infraWiNode id=outgoing_apic_id targetMbSn=backup-serial-number/>`
 where initiator_id = id of an active APIC other than the APIC being replaced.
 pod-initiator_pod_id = pod ID of the active APIC
 backup-serial-number = serial number of standby APIC

例 :

```
https://ip address/api/node/mo/topology/pod-1/node-1/av.xml
<infraWiNode id=2 targetMbSn=FCH1750V00Q/>
```

ファブリックの初期化とスイッチの検出

スイッチの検出

REST API を使用した未登録スイッチの登録

この手順を使用して、REST API を使用して [ファブリックメンバーシップ (Fabric Membership)] 作業ウィンドウの [保留中ノードの登録 (Nodes Pending Registration)] タブからスイッチを登録します。



- (注) この手順は、「REST API を使用したディスカバリ前のスイッチの追加」と同じです。コードを適用すると、システムはノードが存在するかどうかを判断し、存在しない場合はそのノードを追加します。ノードが存在しない場合、システムにより登録されます。

スイッチ説明を追加します。

例 :

```
POST
https://<IP address>/api/policymgr/mo/uni.xml

<!-- /api/policymgr/mo/uni.xml -->
<polUni>
<ctrlrInst>
  <fabricNodeIdentPol>
    <fabricNodeIdentP nodeType="tier-2-leaf" podId="1" serial="XXXXXXXX"
      name="tier-2-leaf-leaf1" nodeId="101"/>
  </fabricNodeIdentPol>
</ctrlrInst>
</polUni>
```

REST API を使用したディスカバリ前のスイッチの追加

この手順を使用して、REST API を使用して [ファブリックメンバーシップ (Fabric Membership)] 作業ウィンドウの [保留中ノードの登録 (Nodes Pending Registration)] タブにスイッチを追加します。



- (注) この手順は、「REST API を使用した未登録スイッチの登録」と同じです。コードを適用すると、システムはノードが存在するかどうかを判断し、存在しない場合はそのノードを追加します。ノードが存在しない場合、システムにより登録されます。

スイッチ説明を追加します。

例 :

```
POST
https://<IP address>/api/policymgr/mo/uni.xml

<!-- /api/policymgr/mo/uni.xml -->
<polUni>
<ctrlrInst>
  <fabricNodeIdentPol>
    <fabricNodeIdentP nodeType="tier-2-leaf" podId="1" serial="XXXXXXXX"
      name="tier-2-leaf1" nodeId="101"/>
  </fabricNodeIdentPol>
```

```
</ctrlrInst>  
</polUni>
```

グレースフル挿抜 (GIR) モード

REST API を使用して、メンテナンス モードにスイッチを削除

REST API を使用して、メンテナンス モードにスイッチを削除するのには、次の手順を使用します。

メンテナンス モードにスイッチを削除します。

例 :

```
POST  
https://<IP address>/api/node/mo/uni/fabric/outofsvc.xml
```

```
<fabricOOServicePol  
  descr=""  
  dn=""  
  name="default"  
  nameAlias=""  
  ownerKey=""  
  ownerTag="">  
<fabricRsDecommissionNode  
  debug="yes"  
  dn=""  
  removeFromController="no"  
  tDn="topology/pod-1/node-102"/>  
</fabricOOServicePol>
```

REST API を使用した操作モードへのスイッチの挿入

REST API を使用して操作モードにスイッチを挿入するには、次の手順を使用します。

操作モードにスイッチを挿入します。

例 :

```
POST  
https://<IP address>/api/node/mo/uni/fabric/outofsvc.xml
```

```
<fabricOOServicePol  
  descr=""  
  dn=""  
  name="default"  
  nameAlias=""  
  ownerKey=""  
  ownerTag="">  
<fabricRsDecommissionNode
```

```
debug="yes"  
dn=""  
removeFromController="no"  
tDn="topology/pod-1/node-102"  
status="deleted"/>  
</fabricOOServicePol>
```
